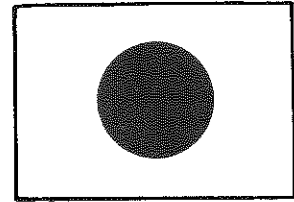




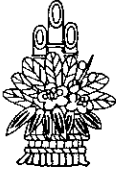
広報

かがやき



発行 福井県勝山市・編集 企画課

〒911 福井県勝山市元町1丁目1番1号
☎ (07798) 8-1111



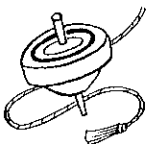
あけましておめでとうございます



静寂のなかにも、正月の華やかさを秘めた通りに、優雅な琴の音色が流れます。

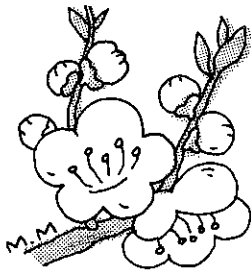
どんな人が弾いているのだろうか、思わず足がとまります。正月気分は満点です。

写真はおめでたい曲「松の寿(まつのことぶき)」を合奏する左から黒原かおりさん(10)＝芳野町二丁目＝、山内真知恵さん(10)＝芳野町一丁目＝とお師匠さんの藤間正子さん(70)＝本町一丁目＝。

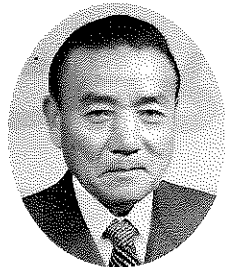


情操環境都市づくりの3本の柱

- ❖創造力豊かな精神文化の誇り高い人間都市づくり
- ❖産業経済の調和のとれた安らぎの田園都市づくり
- ❖創意工夫の盛んなソフト産業都市づくり

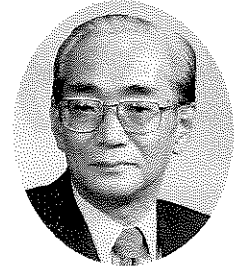


年頭のごあいさつ



勝山市議会議長

西出 巖



勝山市長

池田 勤也

明けましておめでとうございます。皆さんがたには、ご壮健で輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。昨年、厳しい内外の諸情勢に加え、国政選挙をはじめ地方選挙が行われるなど、あわただしい一年でございました。今年も依然として経済活動は低迷下であり、財政再建、行財政改革という国民的課題に直面しているなかで、山積する行政課題に対処しなければならぬ極めて重大

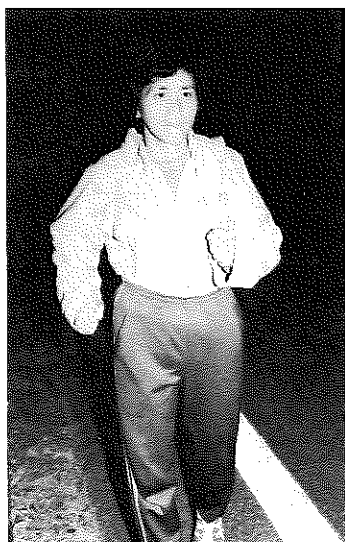
な年になろうかと存じます。年頭にあたり、私どもは、市議会の使命と時局の重大さを再認識し、新たな決意をもってこれら諸問題の解決に全力を傾注していく覚悟でございます。とりわけ、二十一世紀へ向けての真の地方の時代を確立するための最大課題は、地域産業の活性化による財政基盤の充実強化にあると存じます。その認識のうえに立って、昨年九月の市議会改選を機に設置しました地域産業振興対策特別委員会

の機能を十分發揮し、市民の英知を結集しながら、これが目的の現に鋭意取り組んでまいる所存でございます。どうか、皆さんがたにおかれましても活力ある情操環境都市実現のために、倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さんがたのご多幸とますますのご発展を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。すがすがしい昭和五十九年の新春を、ご健勝でお迎えになられたことと存じ、心からお喜び申し上げます。昨年は、おかげさまで、懸案でありました諸施策について、着実な進展をはかることができましたことは、ひとえに市民の皆さんの深いご理解とご協力のたまものと心から感謝申し上げます。しかしながら、新しい時代に即応した行政を進めていくためには、

なお多くの重要な問題が山積をいたしております。私は、新春を迎えるにあたり、心を新たに、これらの諸問題に取り組み、市民の皆さんの負託におこたえしていく所存でございます。本年は、市制三十周年という勝山市が未来へ向かって、いっそうの飛躍をする年でございます。私は、今後とも「情操環境都市」実現のために「豊かな産業と観光の開発」「すこやかな教育・文化・体育の振興」

「幸せな社会福祉の充実」「快適な生活環境の整備」などの諸施策を積極的に推進し、市民生活の安定と郷土の繁栄に努めてまいります。どうか、なおいっそうのご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆さんがたのますますのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



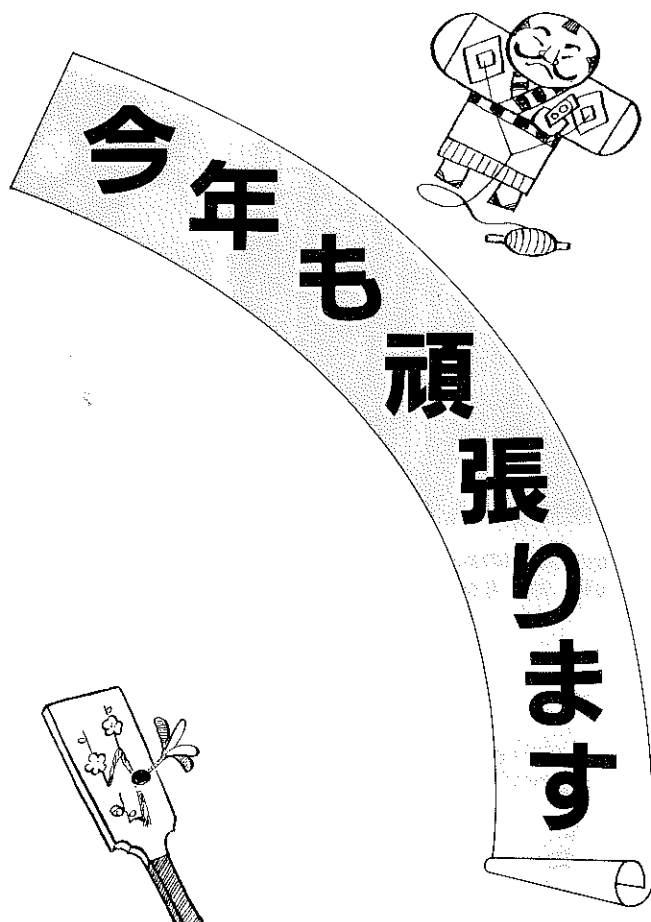
▲練習はいつも家事がすんだあとご主人といっしょに

全国女子駅伝にダツシユ

ママさん選手の 杼木 みつるさん

今月の二十二日(日)、京都市で開かれる第二回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に、連続出場を決めた杼木みつるさん(33)赤尾IIは、いま大会

目指して調整に余念がありません。暮れには、敦賀で他の選手との強化合宿、そして、八日(日)の三国耐寒ロードレース参



加と、ゆっくり正月も過ぎせないようです。

女子駅伝は、各県対抗ということで、いずれも県のトップクラスの選手ばかり。杼木さんは、前回はアンカーを務め、中・高校生中心のメンバーのなかで、ママさん選手の意地をみせてくれました。今年、抱負を杼木さんは、「まず当面の女子駅伝には、ぜひ昨年以上(昨年は最下位)の成績を残したい。マラソンは健康のために、これからはずっと続けていきたい」と張り切っています。

皆さんも応援してください。

分校で最後の勉強

芳野ヶ原分校の 荒木文雄君

今年の三月で、休校となる成器南小学校芳野ヶ原分校では、いま荒木文雄君(12)が最後の冬を、元気に勉強しています。



▲担任の門 憲和先生と二人きりで勉強

文雄君は、この分校のただ一人の生徒で六年生。三月に卒業すると、この芳野ヶ原分校は生徒がいなくなり、十一年五カ月の歴史の幕を閉じます。

三人の姉さんもこの分校を巣立っていきました。両親の行雄さん(14)、つや子さん(11)は、養豚・野菜栽培をしており、長男の文雄君は将来、「お父さんの後を継ぐ」とはつきり決めています。文雄君の好きな学科は、体育、算数。手が器用で、裁縫も得意だそうです。分校卒業後は、中部中学校へ通うことになりました。これからの抱負は「中学校へ行ったら、バレーボールをやりたい」と、いまから楽しみにしています。

初のガールスカウトで活躍

原田まやさん・坂なおみさん



▲制服に身をつつんだ原田まやさん(写真右)と坂なおみさん

昨年五月、勝山市にガールスカウトが生まれました。

団員は小学生ばかりの二十六人。そのうち六年生は原田まやさん(12)・芳野町二丁目と、坂なおみさん(12)・昭和町一丁目(12)の二人だけです。いずれも四つある組のそれぞれの組長を務めています。

六年生は入団募集の対象外だったので、ぜひとも入りたいという二

人の熱意で特別入団許可をとったそうです。今まで、鳥根大水害、三宅島大噴火の救援募金活動や弁天緑地、中央公園の清掃活動などに活躍してきました。まやさんもなおみさんも、四月から中学生です。しかし、二人とも「ガールスカウトは中学校へ入ってから、シニアスカウトとして続けていく」そうです。今年、抱負は「ガールスカウトとして、もっともつと人のためになる活動をしていきたい」と、二人は意欲を燃やしています。

市制三十周年記念事業に向けて 市の木は、杉、花は、サツキに決まる

市は、今年九月、市制三十周年を迎えるにあたり、その記念事業として、市の象徴にふさわしい市の「木」と「花」の選定をすすめてきました。豊かなまちづくり懇話会（梅田治右エ門会長、十五人）愛好家が多いサツキ



その結果、全世帯の約一割の七百三十七通の投票がありました。その内訳は、木については杉が二百二十八通、モミジ百六十三通以下トチノキケヤキの順です。花については、サツキが二百十五通、桜が二百十一通、花ショウブ二百二十八通以下ボタン、ユリと続き、サツキと桜はきん少差でした。同懇話会では、投票結果を



▲市の総面積の約80パーセントを占める山林・杉の造林がすすめられている。

にはかりながら、勝山の風土に合い、なじみのあるものとして、木は杉、松、トチノキ、ケヤキ、モミジ、花はサツキ、桜、ボタン、花ショウブ、ユリ、のそれぞれ五種類を候補に選び、全世帯対象に投票をお願いしました。

踏まえ、「杉」と「サツキ」を選定。選外に漏れた桜も弁天桜など市民との結びつきが深いため、今後も保護保全に努めるようにとの意見をつけて市長に提言、市はこれを受けて議会に了承を求め正式に決定（五十九年一月一日制定）しました。市は、今後、市民の皆さんへ、PRをはかり、ふるさとと自然に対する愛着心をより高めてもらおうと、一人一鉢運動などの植栽運動をすすめていきます。なお、多数の投票ありがとうございました。記念行事のなかで、抽せんにより記念品を贈らせていただきます。

新成人おめでと 「はたちの献血」で 社会人としての第一歩を

成人——晴れて大人の仲間入りをされた二十歳の皆さん。法律的にも一人の社会人として、新しいスタートに胸をふくらませていることでしょうか。二十歳になった記念にと、いろいろな計画を考えている人もおられるでしょう。そうした記念行事の一つにぜひ加えていただきたいのが「はたちの献血」です。社会人として第一歩を記念する意



味からも、献血を通して助け合う社会の連帯の輪の中に、あなたも加わりませんか。医療に必要な血液は年々その需要が増えています。ことに一、三月の冬場は献血者が少なく、血液は不足しがちです。一回あたりの献血の量は、二百ミリリットルです。わたしたちの体には、ふつう約四リットルの血液が流れていますから、献血の量は全体の約5%ということになります。あなたの5%の血液が、輸血を必要とする病気の人や事故に遭われた人々の尊い生命を救うのです。一方、献血は、あなた自身の健康管理にも役立ちます。献血された血液について、血

歳の市 1月22日(日)



五十八年 献血功労者表彰

このほど、五十八年の献血運動に功労のあった事務所、個人に、感謝状が贈られました。（敬称略）

厚生大臣感謝状

松文産業株式会社

県知事感謝状

勝山市

日本赤十字社功労表彰

献血功労（個人）

- ▽献血八十回以上 玉木憲治（伊波）▽五十回以上 石田由一（北西保）丸屋仁志（本町二）▽三十回以上 笠松誠次（滝波町四）中村重夫（元町三）村田明子（新保）▽二十回以上 笠羽テイほか十五人▽十回以上 岡部修治ほか五十二人
- 献血功労（団体）
- A コープ勝山店、鹿谷織維株式会社

成人式は

一月十五日

今年、市内で新成人を迎える人は、三百五十三人（男百八十三人、女百七十一人）の皆さんです。成人式の受け付けは、午前八時半から九時二十分となっております。その時間内に会場の教育福祉会館に着くようにお早めにお出かけください。